

---

# 学校事務分科会

---

## I 研究のあゆみ

- |           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| 4月18日(火)  | 2023年度名教組教研オリエンテーション<br>(2023年度名教組教育研究活動の進め方) | 【教育館】     |
| 5月2日(火)   | 発表テーマ報告・集約                                    |           |
| 6月6日(火)   | 研究計画の検討                                       | 【高蔵小】     |
| 6月上旬～7月下旬 | 全体での会は開かなかったものの、メール等にて指導                      |           |
| 8月7日(月)   | 研究内容の検討<br>(第2次実践の検討と研究のまとめ方・レポートの検討)         | 【高蔵小】     |
| 8月下旬～9月上旬 | 全体での会は開かなかったものの、メール等にて指導                      |           |
| 9月16日(土)  | 第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会                     | 【ウインクあいち】 |

## II 研究協議の概略

学校事務分科会では、職場の教職員がアイデアを気軽に発信できる風通しの良い職場を実現するための実践が発表された。総務・財務の専門的知識を有する学校事務職員と教員が目標を共有し、風通しの良い職場を実現するための職員アンケートを行うもので、「言うだけタダ」というフレーズを使い心理的なハードルを下げ、意見を出しやすくするという工夫のもと行われた実践は様々な学校や職場で活用できるものだった。

意見交流は「職場環境の改善に向けた校内の合意形成」というテーマで行われた。校務改善委員会の紹介や、校内の職員がお互い持っている知識の共有の必要性など校内協働にむけて前向きで興味深い意見がみられた。

## III 今後に残された課題

- 教育研究の実践は力量向上につながるため、各分会において教研発表のローテーションに学校事務職員を組み込むなど、教育研究に取り組む機会が与えられると実践報告がさらに集まると考える。
- 本分科会は学校事務職員の実践に限ったものではないので、「教育環境整備」や「校内協働」等のテーマで教員による実践もあるとよいと考える。